

浅井町 ふれあいたより

7月号

発行日 平成27年7月1日 発行者 浅井町地域づくり協議会

一宮市浅井町前野字郷西 85 (浅井町出張所内)

地域とともに

一宮市立浅井北小学校 校長 樋野 仁

今年の4月より浅井北小学校の校長として赴任しました 樋野 仁 と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。浅井北小学校は、本年度は58名の新入生を迎え、児童数 346 名(15 学級)、教職員数 31 名でスタートしました。

本校では、地域と連携した豊かな心を育むために、家庭や地域の願ひを取り込みながら、今年もESD(持続可能な開発のための教育)に取り組んでいます。二つの行事を紹介します。



まずは、地域と協働したホタルの飼育活動です。「ホタルを子どもたちに見せたい」という地域の願ひを背景にスタートし、地域に住む日置須務氏の協力を得て行っています。ホタルの飼育活動は、ホタル委員会の児童を中心に、6 月から翌年 4 月まで幼虫を育てます。そして、今年も4月14日に、全校児童で育ててきた幼虫をホタル池に放流しました。また、6月5日にはホタル鑑賞会を開催しました。雨天にもかかわらず大勢の方においでいただきました。実は、今年のホタルは思うように

成育せず、ホタルの会に来ていただいている日置氏や川口氏、平成ホタルの会の方々にもご支援をいただき、なんとかホタルの光る姿を見ていただくことができました。地域の方々の協力で、子どもたちの学習活動が成り立っていることを改めて感じました。

次に、6年生の古墳探検です。6年生は、毎年1学期に学校の近くの浅井古墳群を探検しています。今年も、5月27日に岩塚古墳や小塞神社古墳など5つの古墳を回りました。子どもたちは、円墳の大きさを計測したり、石室の様子を見学したりしていました。日頃何気なく見ている風景が、1400 年も昔から地域に受け継がれていること知り、歴史ロマンを感じていました。探検後、「古墳新聞」に学習した内容をまとめ、自分たちが住む地域のすばらしさを伝え合いました。



こうした活動を通し、地域の自然や人々とのかかわりを深め、将来にわたって自分が住む地域やふるさとに、誇りと愛着を持てる児童を育てていきたいと考えています。そして、本校のキャッチフレーズ「ホタルといっしょとびかうあいさつ ぴかぴか笑顔」のように、いつも児童の笑顔が輝いている学校をめざしていきたいと思ひます。

7月の主要行事

浅井児童館 七夕まつり会 7月4日(土)10時~11時30分

第65回社会を明るくする運動 「明るい町づくり講演会」 7月10日(金)14時~15時30分 浅井公民館

第45回夏の球技大会 7月11日(土)8時~16時 浅井中小学校 (雨天予備日 7/12、7/18、7/19、7/20)

2015ふれあい盆踊り大会 7月19日(日)19時~21時 浅井公民館駐車場 (模擬店 18時頃から)

浅井町七夕まつり 7月25日(土)15時~20時 いちい信金浅井支店駐車場

宝生町納涼祭 7月25日(土)17時~21時 宝生町公民館

「防犯は鍵かけ、声掛け、心がけ」 防犯・廃棄物減量等推進委員会

5月26日(火)浅井公民館で「浅井町防犯委員会」が開催された。各町内の防犯委員さんが参加、市役所と一宮警察署の職員から地域防犯の推進について講話と防犯協力要請がありました。一宮署管内の犯罪件数は今年に入って増加、特に侵入盗(空き巣、忍び込み等)と自転車盗が大きく増加、無施錠の割合が高い。家の鍵、自転車の鍵は必ずかけるようにと注意喚起がありました。

自分たちの町は自分たちで守ることを再認識するとともに、地域住民への防犯啓発活動に協力していくことを確認し閉会。



「ごみの減量とごみ出しルールの徹底を」 防犯委員会に続いて、「廃棄物減量等推進委員会」が開催された。こちらも各町内の衛生担当委員を中心に出席を頂き、市清掃対策課の職員より、ごみ出しルール、分別方法等の説明を聞き、ごみの減量やリサイクルの重要性を再認識した会議でした。(連区長 栗本)

連区防災訓練を終えて

浅井町連区長 栗本和徳

6月14日(日)浅井中小学校において、平成27年度浅井町連区防災訓練を開催しました。浅井町連区すべての町内から421名の参加者があり、役員・関係者を含めると、480名が訓練に参加。“自分たちの町は、自分たちで守ろう”をスローガンに、応急救護、炊き出し、避難、初期消火などの訓練に汗を流し、最後は消防団浅井分団の規則正しい、また、息の合った放水訓練で終了。訓練によって「自分の身は自分で守る」という防災意識を向上させ、いつ起きてもおかしくない自然災害に備えることの大切さを学んだ訓練でした。参加者の皆様、関係者の皆様、本当にお疲れ様でした。



あいさつ運動・学校公開・浅井4校学校運営協議会連絡会

6月18日(木)浅井公民館で、浅井4校学校運営協議会連絡会が開催された。

奥田義徳会長は「浅井4校に新校長を迎えて3か月、新しいクラス編成でスタートした子どもたちは、遠足、キャンプ、修学旅行、スポーツ大会を通して自信を持ち、クラスの結束も高まってきた。6月第1週のあいさつ運動はこれまで以上に大きな声が返ってきた。翌週の学校公開は4校の授業を拝見した。いつも教室後ろの掲示物に目を通すようにしている。ある6年生は歴史感想文で、「この国は終わりが!!」と題し、藤原宮から平城京に遷都、争いが続き、重税と疫病に苦しむ世を平和に戻すために、国分寺の建立を発願した聖武天皇の事跡を綴っていた。中学3年生は「この1年間を最高学年にふさわしく過ごしたい。苦手科目を克服して受験に挑戦、自分の将来を拓きたい」と強く決意。



新聞のスクラップ綴りには、経済・文化・スポーツ・自然環境とともに、平和の大切さと不戦の誓い、集団的自衛権をまとめた記事も見られた。三権分立が揺らぎ、国の規範が危うい現状を敏感に感じ取っているのではないかと思った。来年夏から選挙権が18歳以上に引き下げられる。小中学校9年間の向こうに高校生活があり18歳がある。子どもたちは私たち大人のふるまいをじっと見ている。頭が柔らかく何でも受け入れられる今の教育が大切。正しい判断がもてるように児童生徒を守り育てていただきたい」とあいさつ、学校、保護者、地域代表に協力を求めた。

全体会に続き、連携・行事部会、学習・生活部会に分かれ、あいさつ運動、町内・公民館行事への参加、学習マナーの統一、ノーテレビ・ノーゲーム・ノー携帯デー等小中連携、小中合同現職教育について話し合った。